

令和3年度
経営発達支援事業

国道361号線交通量調査（流出）結果

令和3年12月

高山南商工会

高根トンネル開通に伴う交通量調査（流出）の実施（5年目）

高根トンネル開通から5年が経過し、昨年に引き続き交通量調査を行った。（入りについては、高山市が調査していることから当会は流出を調査した。）

①調査日程

令和3年8月16日（月） 午前8時30分～午後4時30分 1時間ごと

②調査人数

職員 溝脇・坂下 2名

③調査地点

高根町 道の駅 飛驒たかね工房 駐車場

④調査対象

乗用車・バス・バイク

⑤調査方法

高山市の調査方法に準じ、事前に準備した調査票により、1時間ごとの交通量を調査。

・乗用車の台数をカウントする。

（平均乗車数を3名とする。家族及び2名乗車が多いことから、その平均値とする。）

・バスの台数をカウントする。

（平均乗車数を30名とする。乗車人数を目測により平均値を決定する。）

・バイクは台数と2人乗りをカウントする。

（台数と2人乗りで人数を算定する。）

・道の駅 飛驒たかね工房の利用台数をカウントする。

（利用人数は、上記を基に算定する。）

・ナンバーにより、振り分けを行う。

（飛驒・岐阜・愛知・三重・静岡・長野・北陸・関東・関西・その他）

⑥目 標

平成29年より5年間の流出を調査し、交通量とナンバーから台数・人数・方面等を調査し、高山市の交通量調査と合わせ、国道361号線の利用促進と地域業者の経済活動を、側面支援するための一助とする。

⑦調査場所：道の駅 飛驒たかね工房



★令和3年度交通量調査の結果

(乗用車)

	飛騨	岐阜	愛知	三重	静岡	長野	北陸	関東	関西	その他
8:30~9:30	33	2	5	1	0	1	1	0	1	0
9:30~10:30	28	2	3	1	0	1	0	1	0	0
10:30~11:30	20	4	0	0	0	0	1	2	1	0
11:30~12:30	14	1	0	0	0	0	0	1	0	0
12:30~13:30	13	3	1	1	0	1	1	2	1	0
13:30~14:30	18	3	0	0	0	1	0	2	0	0
14:30~15:30	12	1	0	0	0	5	1	1	0	0
15:30~16:30	17	1	1	0	1	2	0	0	0	1
合計	155	17	10	3	1	11	4	9	3	1

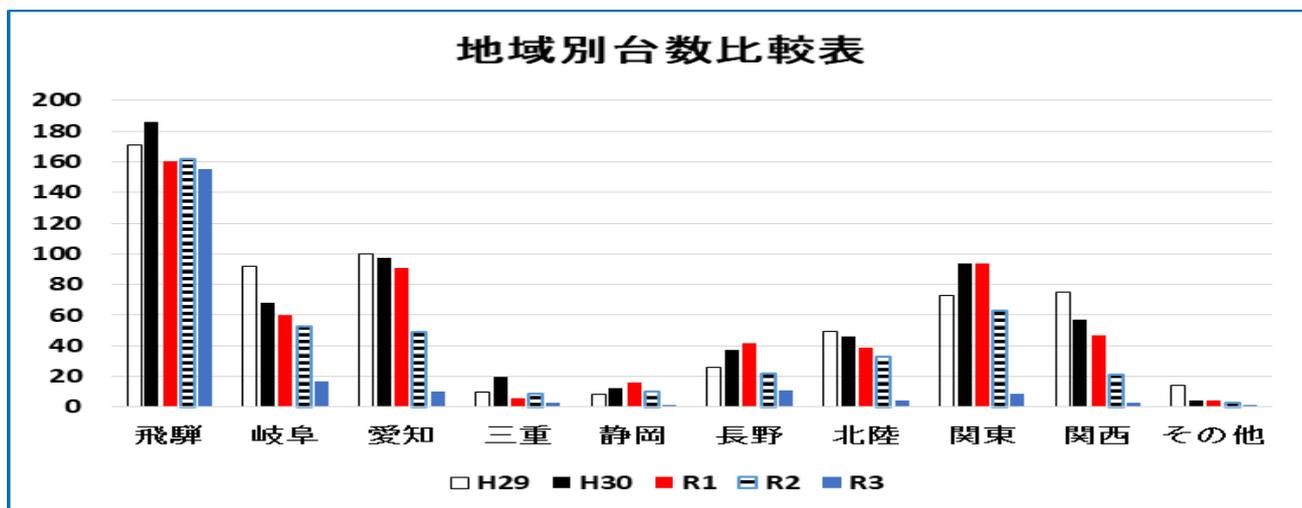
合計
×3名
= 1,275人

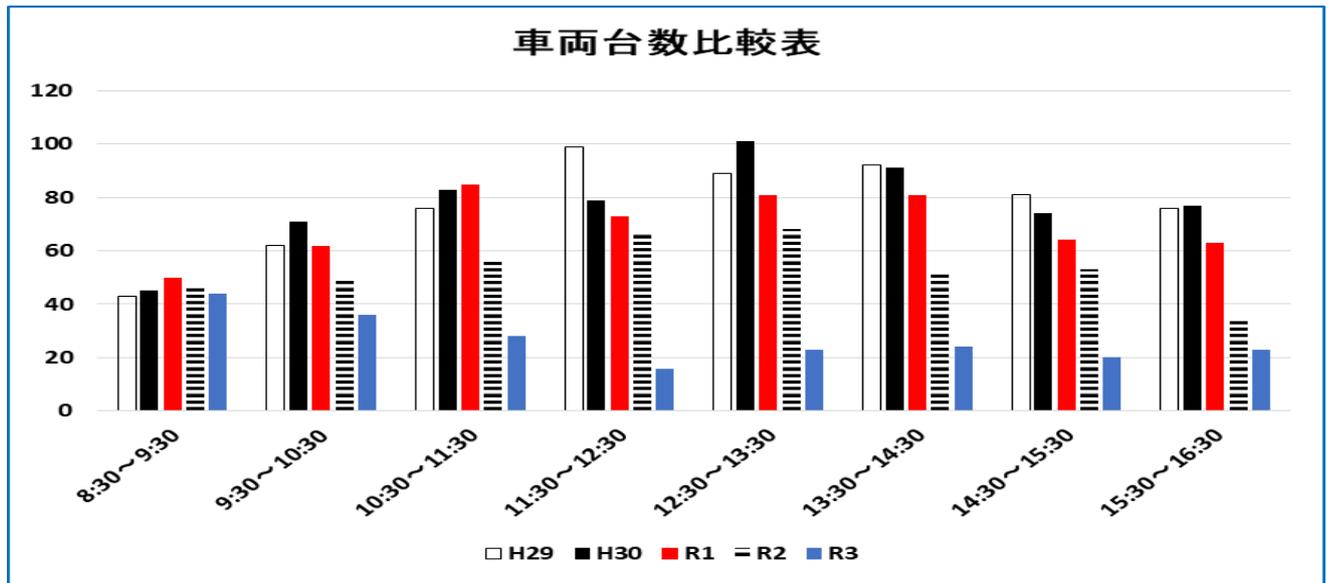
(バス)

	飛騨	岐阜	愛知	三重	静岡	長野	北陸	関東	関西	その他
8:30~9:30										
9:30~10:30										
10:30~11:30										
11:30~12:30										
12:30~13:30										
13:30~14:30										
14:30~15:30	1									
15:30~16:30										
合計	1									

合計
×30名
= 30人

乗用車とバスの合計

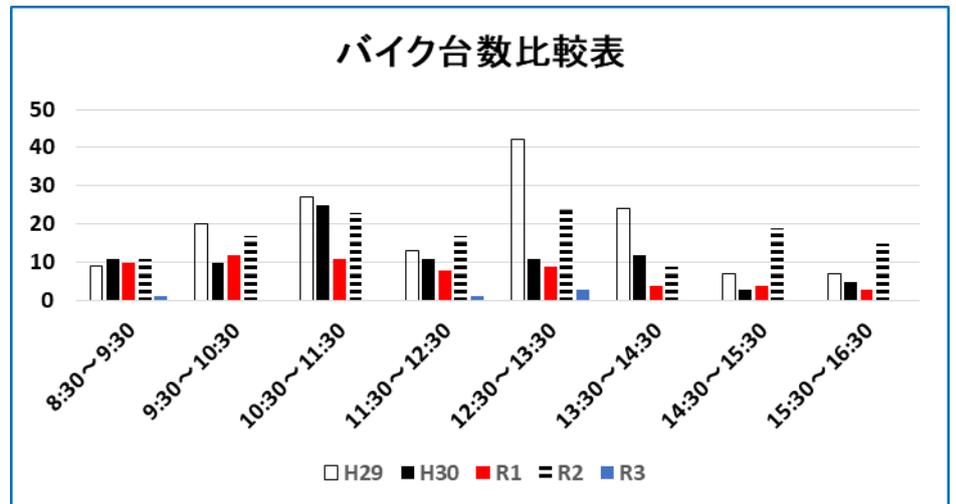




(バイク)

	全国
8:30~9:30	1
9:30~10:30	0
10:30~11:30	0
11:30~12:30	1
12:30~13:30	3
13:30~14:30	0
14:30~15:30	0
15:30~16:30	0
合計	5

5人



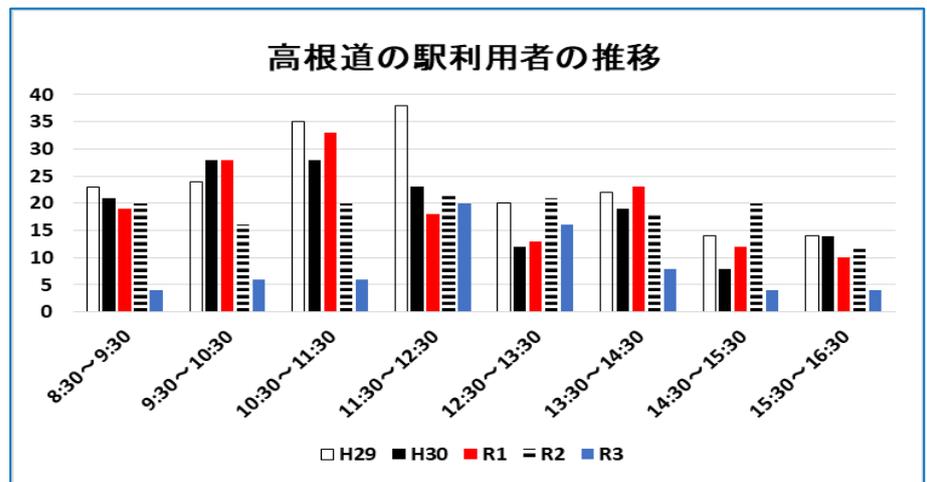
(道の駅利用)

	全車種
8:30~9:30	4
9:30~10:30	6
10:30~11:30	6
11:30~12:30	20
12:30~13:30	16
13:30~14:30	8
14:30~15:30	4
15:30~16:30	4
合計	68

乗用車 68台 × 3人 = 204人

バイク 2台 = 2人

合計 206人



■飛驒ナンバー以外を占める割合は次の通り。

車 種	台 数	割 合
乗 用 車	59	28.0%
バ ス	0	0%
バ イ ク	5	100.0%

(*バイクのナンバーは把握できなかったが、その多くはツーリングであることから、他県ナンバーと判断できる。)

- ★コロナウイルスの影響により、交通量は減少した。
- ★11：30～13：30 までの昼時間の交通量が多い。
- ★バイク及びバスの通行は調査期間中最も少なかった。

■道の駅飛驒たかね工房を利用した台数は次のとおりであった。

車 種	台 数	割 合
乗 用 車	68	32.0%
バ ス	0	0%
バ イ ク	2	40.0%

■コメント

新型コロナウイルス感染拡大の規制による影響と豪雨による交通止めが解除になった直後の月曜日ということもあり例年であればお盆休暇で観光客や帰省客で賑わう時季だが、交通量は少なく5年間の調査の中で最低の数字となった。

今回の調査結果では、朝の時間帯は、職場(工事現場など)へ向かうと思われる飛驒ナンバーの車輛が多く、日中は通行する車輛が少なかった。お昼時間になると、道の駅の利用者も少し増加してきた。客層は観光客で家族連れが多く、他には仕事中の男性が見受けられた。

過去4年間の通行推移を見ると、平成29年4月26日に「高根トンネル」が開通した当時は交通量も多いことがわかるので、道の駅の利用もそれに比例し多くなっている。しかし年々通行数が減少しているのので道の駅の利用も減少している。観光客意識調査の結果では、道の駅(久々野・朝日)を利用される観光客の年層は40代～70代の夫婦や友人が多いことがわかった。ターゲットを絞り現在ある特産品の改良や新しく特産品の開発を行い、そして特色ある地域資源の情報発信を強化していけば、通過点の地域ではなく、目的地となる地域として発展していくのではないかと考える。交通量調査は今年度で終了するが、今後も国道361号線沿いの経済活動について行政や地域の方々と情報共有しながら考えていきたい。